



ザンビアの経済概況・月報(2016年1月)

	主なマクロ経済指標	2015年	2016年
1.	人口 (百万人)	15.5 (est)	15.9(proj)
2.	人口増加率 (%)	2.88 (est)	2.6(proj)
3.	失業率 (%)	7.4(2014)	-
4.	平均寿命 (年齢)	50.5(男性)/53.8(女性)	-
5.	実質GDP (百万米ドル)	-	-
6.	名目GDP (百万米ドル)	21,902 (est)	20,395(proj)
7.	GDP成長率 (%)	3.9(proj)	3.1(proj)
8.	一人当たりGNI (米ドル)	1,619(2014)	-
9.	インフレ率 (%)	10.0	21.8(Jan)
10.	消費者物価指数 (2009年=100)	155.82	178.70(Jan)
11.	貿易収支 (百万米ドル)	-1527.89	-71.85(Dec, 2015)*1
12.	対日貿易収支 (百万米ドル)	-26.90*3	0.54(Dec, 2015)*2
13.	輸出 (総額, 百万米ドル)*5	6,978.34	648.71(Dec, 2015)*1
14.	対日輸出 (百万米ドル)	46.34*3	3.70(Dec, 2015)*2
15.	輸入 (総額, 百万米ドル)*5	8,506.23	720.55(Dec, 2015)*1
16.	対日輸入 (百万米ドル)	73.24*3	3.16(Dec, 2015)*2
17.	経常収支 (百万米ドル)	-360 (2014年)	-
18.	対外直接投資 (百万米ドル)	-213 (2014年)	-
19.	対内直接投資 (百万米ドル)	2,484(2014年)	-
20.	金・外貨準備高 (百万米ドル)	3,600 (2015年9月末)	-
21.	対外債務残高 (百万米ドル)	6,300 (2015年9月末)	-
22.	為替レート (対米ドル)	8.63ZMW*4	11.13ZMW(Jan)*4
23.	主要政策金利 (現行, 年利%)	13.0	15.50 (Dec, 2015)

※() 内の年月は、その年あるいは月の確定値／予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

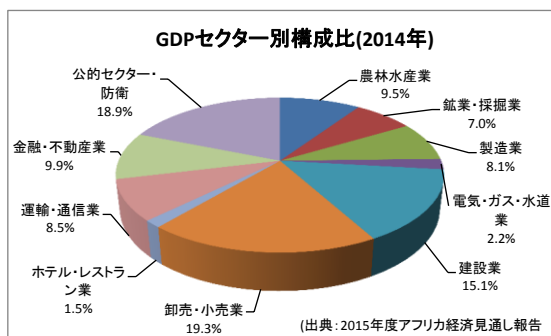
*1	1USD=10.84ZMW (2015年12月のザンビア中央銀行為替相場)を用いて換算
*2	1USD=120円(2015年12月の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*1' / 2'	<2015年12月>
	主要輸出品目: 銅／砂糖類／メイズ(種子除く)／酸化マグネシウム類
	主要貿易相手国(輸出): スイス 53.9%, 中国 12.3%, 南アフリカ 6.3%, コンゴ(民) 5.9%, ジンバブエ 3.2%, その他 18.5%
	主要輸入品目: トラクター／軽油／内燃機関用燃料／原油
	主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 28.9%, コンゴ(民) 20.3%, モーリシャス 10.7%, クウェート 5.2%, インド 4.5%, その他 30.4%
*3	1USD=121円(2015年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*4	2013年1月1日から通貨クワチャのデノミネーションが実施され、1,000 ZMK(旧通貨) = 1 ZMW(新通貨)へと通貨単位が変更となった。
<出典> 1.-2., 6.-7.: Country Report 2016 (EIU)／3. Zambia Labour Force Survey Report, 2014 (CSO&Ministry of Labour and Social Security)／4. 17.: The World Factbook (CIA)／8.: National Accounts Main Aggregates Database (UNstat)／9.-11., 13., 15.: Monthly Bulletin (CSO)／12., 14., 16.: 日本国財務省貿易統計／18.-19.: UNCTAD／20., 21.: Ministry of Finance in Zambia／22.-23.: Bank of Zambia	

<ザンビアの税制度～鉱業関連～>

(出典: ザンビア歳入庁, ザンビア採取産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/ Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料 (Mineral Royalty):**
坑内掘りに6%, 露天掘りに9%。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎により、0 - 25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要なとされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。



主要な経済ニュース(1月)

1.“電気料金、値下げ”(Daily Mail, 4日)

3日、チャンダ大統領特別補佐官は、記者団に対して、ルング大統領が、多くの消費者からの抗議を受け、電気料金の値下げを決定した旨発言した。同値下げは、1月1日から実行された。

2.“IDC、金融機関とパートナー関係”(Times, 12日)

チブウェンデ産業開発公社(IDC)CEOは、ルサカ南部複合的経済特区(LS-MFEZ)内の道路100キロメートルの建設の一助となるよう、IDCが金融機関及び民間セクターとパートナー関係になる旨発言した。同CEOは、ザンビア政府の経済多角化政策に資するよう、同MFEZが産業活動の中心となるべきである旨発言した。

3.“ルング大統領、WFPの支援を模索”(Times, 15日)

ルング大統領は、国連世界食糧計画(WFP)に対し、干ばつに伴う食糧不足に対応しているザンビア及びその他南部アフリカ諸国を支援するよう求めた。同発言は、14日のカズンWFP事務局長による同大統領への表敬訪問時の発言である。

4.“投資フォーラム、準備開始”(Times, 18日)

ザンビア政府は、ザンビア国際投資フォーラム(ZIF-2016)の準備を開始した。同フォーラムには、世界各国から500名以上の投資家が参加する見込みであり、4月21日から22日までの日程でラディソンブルーホテル(於: ルサカ)にて開催される。

5.“ZCCM-IH、旧鉱山労働者を支援”(Times, 19日)

ZCCM-IHは、コッパールベルト州の鉱山労働者の失業に対応すべく、介入策を策定した。その一例としては、ンドラのセメント工場建設の際に1万人を雇用する計画が含まれている。カソロCEOは、ザンビアだけではなく全世界に影響を及ぼしている金属価格の低下が継続していることについて、同社の心配の種である旨発言した。

6.“燃料タンクローリー運転手によるストライキ、終結”(Daily Mail, 22日)

シリヤ・エネルギー水開発大臣及びシャメンダ労働社会保障大臣は、ルサカの深刻な燃料不足の発端となった、燃料タンクローリー運転手によるストライキが終結した旨発言した。(当館注: 同ストライキは、19日、燃料タンクローリーの運転手が、ンドラにて労働条件の改善を求めて抗議活動を行ったのちに、燃料の運搬を拒否したことから端を発している。)

7.“カルンピラ・ミネラルズ、労働者735名を解雇”(Post, 24日)

カルンピラ・ミネラルズは、政府及び鉱業関連労働組合に対し、センチネル鉱山の労働者735名を即時解雇する旨通知した。チェウエ・ザンビア鉱山労働組合(MUZ)長は、同組合が、電力不足の問題はザンビア政府及びその他関係者との協議によって解決出来る 이슈であるが故に、解雇を実施しないよう、カルンピラ・ミネラルズに対して助言していた旨発言した。

8.“ザンビア政府、財政の安定性維持を求められる”(Daily Mail, 26日)

世銀は、格付評価の低下、資本の流出、為替レートの悪化を挙げつつ、ザンビア政府に対して財政の安定性を維持するよう促した。世銀は、ザンビア政府に対し、モニタリング可能で、かつ同国の国際収支の改善に資する経済目標の設定を通じ、財政の安定性を確立すべきである旨発言した。

9.“南ア企業、2億5000万米ドルの太陽熱発電所を建設”(Daily Mail, 27日)

とある南ア企業は、東部州の土地150ヘクタールを配分され、総額2億5000万米ドルの太陽熱発電所へ投資する意向である。産業開発公社(IDC)は、ザンビア電力公社(ZESCO)との電力購入協定への署名する予定で、同プロジェクトは4月に開始予定となっている。カソロ東部州次官は、現在は当該企業名を明かすことが出来ないとした上で、全ての計画の準備が整った際に企業名が発表される旨発言した。

10.“ザンビアのインフレ率、「過去6か月」の最高値から、「過去12年間」で最も高い値となる”(Bloomberg, 28日)

ザンビア中央統計局(CSO)は、1月のインフレ率が21.8%に上昇した旨発表した。同インフレ率は、電力不足及びクワチャ安によって6か月連続で上昇し、過去12間で最も高い値を記録した。なお、2015年12月のインフレ率は21.1%。